

# TOPICS

[Vol.52]

脳卒中のお話

脳神経外科 野崎 和彦

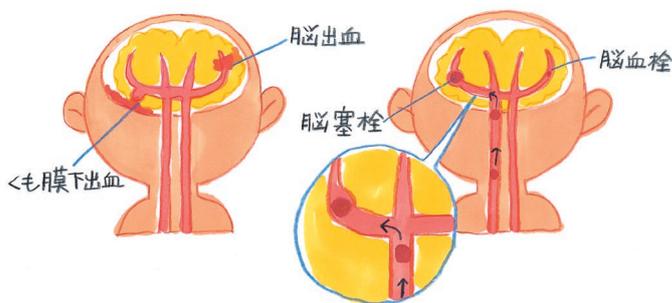
## 脳卒中とは

「脳卒中」とは、その字が示すとおり、脳が卒然（突然、急に）中（あたる）ことで、突然に症状がでる脳の疾患全体をさします。多くの場合、発症時刻を「何時何分」というように特定することができます。



脳卒中は大きく3つの種類に分けられます。①脳へ血液を送る血管が詰まる「脳梗塞」、②脳の中で細い血管が破れる「脳出血」、③脳動脈瘤（脳の太い血管の一部がふくらんだコブ）が破裂して脳の表面に出血が広がる「くも膜下出血」があります。

また、「脳梗塞」の中には、脳血管自体の動脈硬化による「脳血栓」、脳以外、例えば心臓から流れてきた血の塊が詰る「脳塞栓」があります。



## 脳卒中の症状

### ◆脳梗塞と脳出血の場合

脳梗塞では頭痛を伴うことは少なく、脳出血では頭痛と嘔吐を伴うことが多いようです。また、ともに重症の場合は意識の障害を伴います。

脳梗塞・脳出血とも、神経症状として最も多いのは手足の運動障害で、「片麻痺」と呼ばれるものです。顔の半分か片方の手足が突然動かなくなります。また、顔や手足の感覚が鈍くなったり、しびれが生じたりすることもあります。両手の指先が徐々に（あるいは時々）しびれるような場合は、脳卒中の症状ではありません。



次に多いのは、言語障害です。突然、呂律（ろれつ）が回らなくなったり、言葉が出なくなったり、相手の言葉を理解できなくなります。さらに、手足の運動麻痺はないのに、急に足元がふらついて、立ったり、歩いたりできなくなることがあります。この症状を「失調」といいます。

このほかに、目に症状が生じることもあります。例えば、突然に片目の視力がなくなったり、視野の一部が見えなくなったり、物が二重に見えたりします。視野の欠損は両目では気がつかない場合もありますので、片目を閉じて確認する必要があります。



### 一過性脳虚血発作 (TIA)

一過性脳虚血発作 (TIA) とは、上記のような症状が数分で消失して、もとの通りになることで、約3割の方は、近い将来（特に1ヵ月以内）に脳梗塞になる危険性があります。

軽い症状と見過ごしがちですが、これが本格的な脳梗塞の前兆となります。すぐおさまったからと放置せず、すみやかに治療を受けるようにしましょう。

## ◆くも膜下出血の場合

今までに経験したことのない激しい頭痛が特徴です。重症の場合は意識障害や呼吸障害を伴います。頭痛の強さは発症時がピークで、嘔吐することもしばしばです。「最近、なんとなく頭が痛い、重い」といったような頭痛や、

開始時刻を特定できない場合は、くも膜下出血の可能性は低いといえます。脳出血の場合も頭痛を伴うことがありますが、その場合は、片麻痺、言語障害、失調、視野障害などを伴います。

いずれにしても、脳卒中が疑われる場合は、救急車を呼ぶなどして、一刻も早く、専門的な病院を受診してください。



## 脳卒中にならないために

脳卒中にならないためには、脳卒中の主要危険因子である高血圧、糖尿病、不整脈（心房細動）、喫煙、過度の飲酒、高コレステロール血症などに注意する必要があります。

さらに、高血圧・糖尿病・高コレステロール血症を予防するためには、塩分・脂肪を控えた食事を中心にして、適度な運動を行い、肥満を避け、禁煙することを勧めています。

### 危険因子・よくない生活習慣



### ●脳卒中予防十か条

- (1)手始めに 高血圧から 治しましょう
- (2)糖尿病 放っておいたら 悔い残る
- (3)不整脈 見つかれば すぐ受診
- (4)予防には タバコを止める 意志を持って
- (5)アルコール 控えめは薬 過ぎれば毒
- (6)高すぎる コレステロールも 見逃すな
- (7)お食事の 塩分・脂肪 控えめに
- (8)体力に 合った運動 続けよう
- (9)万病の 引き金になる 太りすぎ
- (10)脳卒中 起きたらすぐに 病院へ

(日本脳卒中協会)

## 脳卒中の再発を防ぐために

脳卒中を起こされた方が、再度脳卒中中で倒れないためには、1)原因となった病気の治療、2)誘引の除去、3)薬物療法が必要です。

バランスのよい食事、禁煙などとともに、各専門の先生から出された脳卒

中の再発を防ぐための薬をしっかり服用しましょう。脳卒中中の再発予防の薬として、アスピリンなどの抗血小板剤やワーファリンなどの抗凝血剤が投与されますので、副作用について十分説明を受けながら、しっかり服用しま

しょう。

また、脳卒中中の誘引となる、脱水、血圧の急激な上昇や低下、過労、風邪などの感染に気をつけましょう。

## 滋賀医科大学医学部附属病院 理念

### 「信頼と満足を追求する全人的医療」

滋賀医大病院ニュース第25号別冊 編集・発行：滋賀医科大学広報委員会  
〒520-2192 大津市瀬田月輪町  
TEL：077(548)2012(企画調整室)  
過去の TOPICS (PDF 版)はホームページでご覧いただけます。

## ●理念を実現するための 基本方針

- 患者さん本位の医療を実践します
- 信頼・安心・満足を与える病院を目指します
- あたたかい心で最先端の医療を提供します
- 地域に密着した大学病院を目指します
- 世界に通用する医療人を育成します
- 健全な病院経営を目指します